

NIRAI・KANAI

沖縄県読谷村

設計 福村俊治+空間計画VOYAGER

施工 米正建設





道路に面する北側全景



南側外観

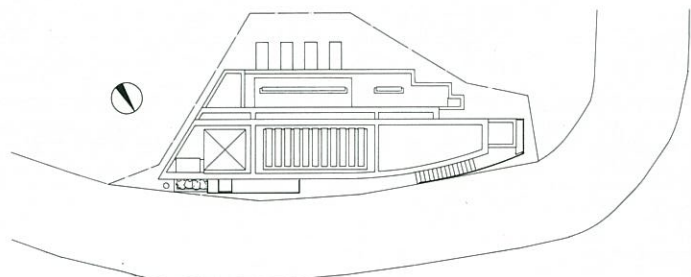


パティオより外部を見る

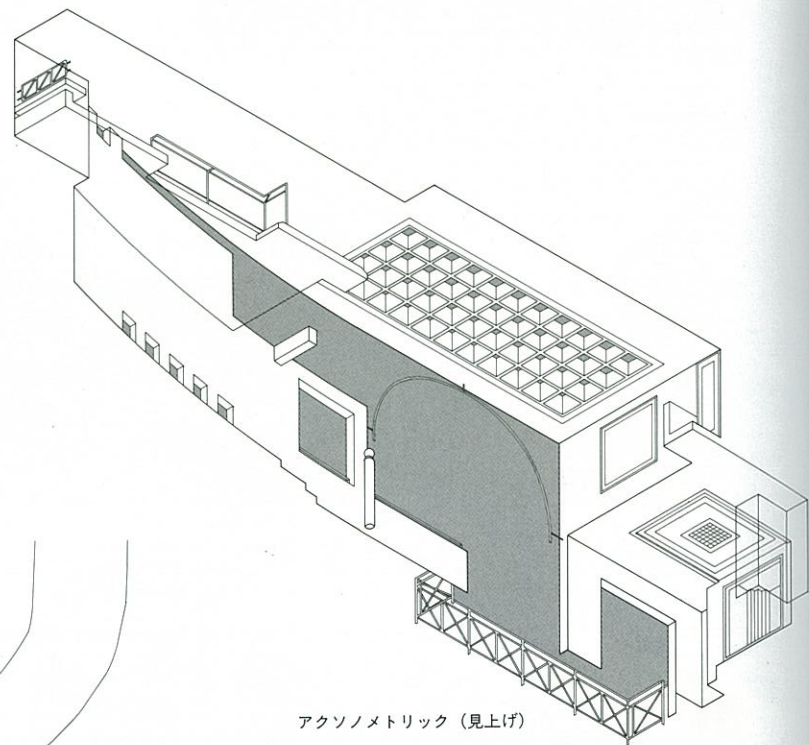


南西より見る

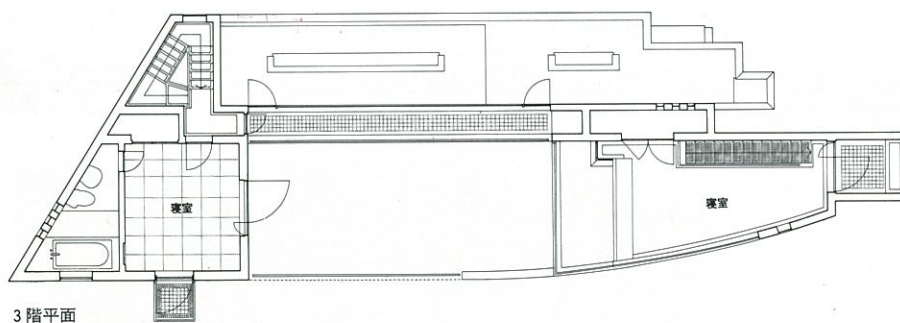
前頁 北側外観



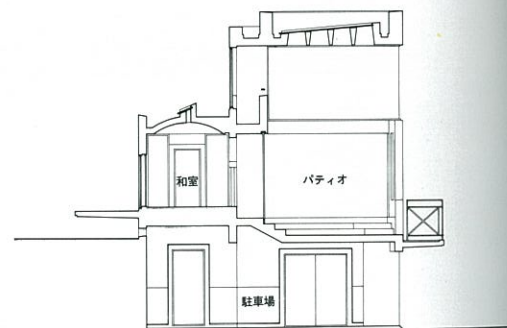
配置 縮尺1/500



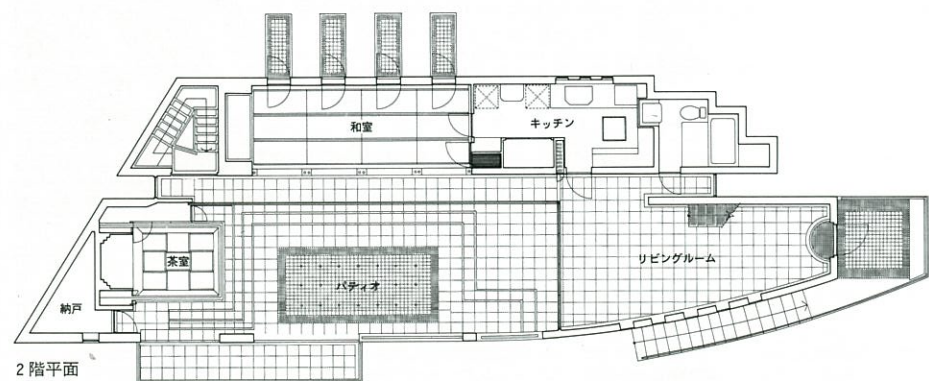
アクソノメトリック (見上げ)



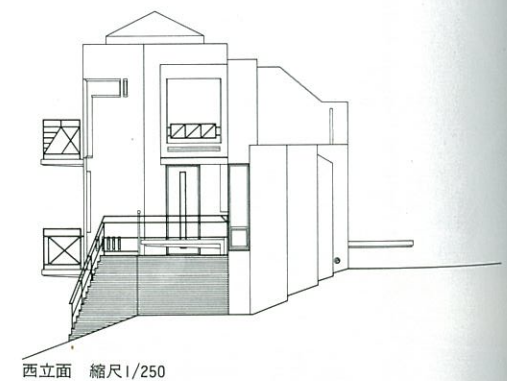
3階平面



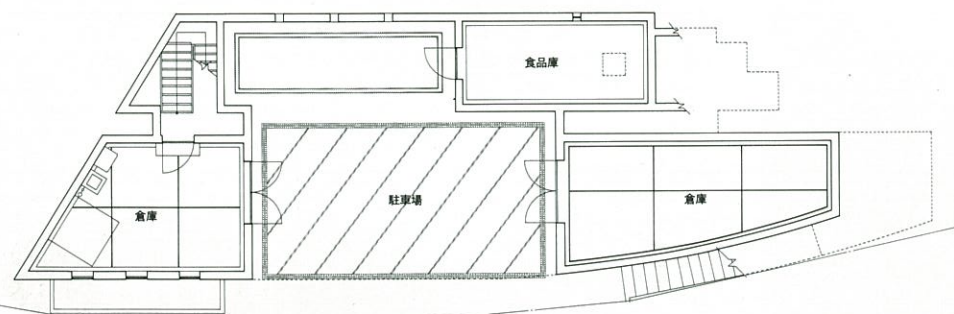
断面 縮尺1/250



2階平面



西立面 縮尺1/250



1階平面 縮尺1/250



道路に面する北側全景



南側外観



パティオより外部を見る





東側を見る 1階はリビングルーム、2階は寝室

「ニライ・カナイ」とは、沖縄の言葉で「海の
かなたの理想郷」を意味する。群馬生まれ、東京
在住の施主にとっては、コバルトブルーの海
に浮かぶ常夏の島、沖縄はまさに「ニライ・カ
ナイ」であり、そこに建つ建物はその「ニライ・
カナイ」の拠点であらねばならない。敷地は読
谷村残波岬の近く、東シナ海を望む丘陵地の中
腹にある。この敷地から見える海は、潮の満干・
太陽の日差し・雲の影・波によって、生き物の
ように色が刻々と変わる。広い青い空では、白
い雲が形を変えながら流れていく。この雄大な
自然の様相を居ながらにして享受できる住宅を
試みた。

海への眺望を取るため主要諸室を2階とし、海
に大きく開いた開口をもち、格子状のトップラ
イトのある屋根と吹抜けをもつ広い半戸外のパ
ティオを設けた。パティオと諸室の間には、引
込みガラス戸や和室の障子戸があり、その戸を
納めると、3階の主寝室を除き、海に開かれた
ひとつの空間となる。海に見える重要な位置に
ある2室の和室は、くつろぎの多機能空間とし
て配置した。屋根のある半戸外のパティオは、
多雨・強い日差し・台風というきびしい沖縄の
気候と道路からの騒音等を和らげるのに効果が
あった。

この建物は、コンクリート壁式構造である。室
内空間の連続性を高め、空間を軽く見せ、そし
て、コスト面や耐久性の面から、内外ともコン
クリート打放し補修の上同色塗装仕上げとした。
構造躯体の納まりや開口の開け方に相当注意を
払い、各部材の材質感をなくし、「空間」を感じ
させるものとした。その結果、外部の微妙な自
然の移り変わりに「呼応する空間」となった。
住宅に地方性がなくなったといわれて久しい。
時代と共に材料や施工方法が変わったこともあ
るが、環境悪化や気候の厳しさなどの悪条件を
基準にし、外的要因を排除し、「閉じた」住宅の
中で豊かさを求め、「物」の羅列に設計のテーマ
をおいたのが原因ではなかろうか。沖縄でのこ
の住宅の設計に際し、眺望はよいが、多雨・強
い日差し・台風・塩害などの悪条件は、他地域
に比べてはるかに厳しいものであった。多くの
沖縄の住宅がなぜかゴツゴツして防御的に見え
るのはそのせいであろう。厳しい外的要因に対
しては「閉じ」、よりよい外的要因に対しては「開
く」何らかの「仕掛け」をもてば、住宅はもっ
とより豊かな空間となり得るのではなかろうか。
長く「閉じた」住居や都市に住んでいると、そ
の地のもつよりよい自然要因を感じる感覚さえ
失いつつある。

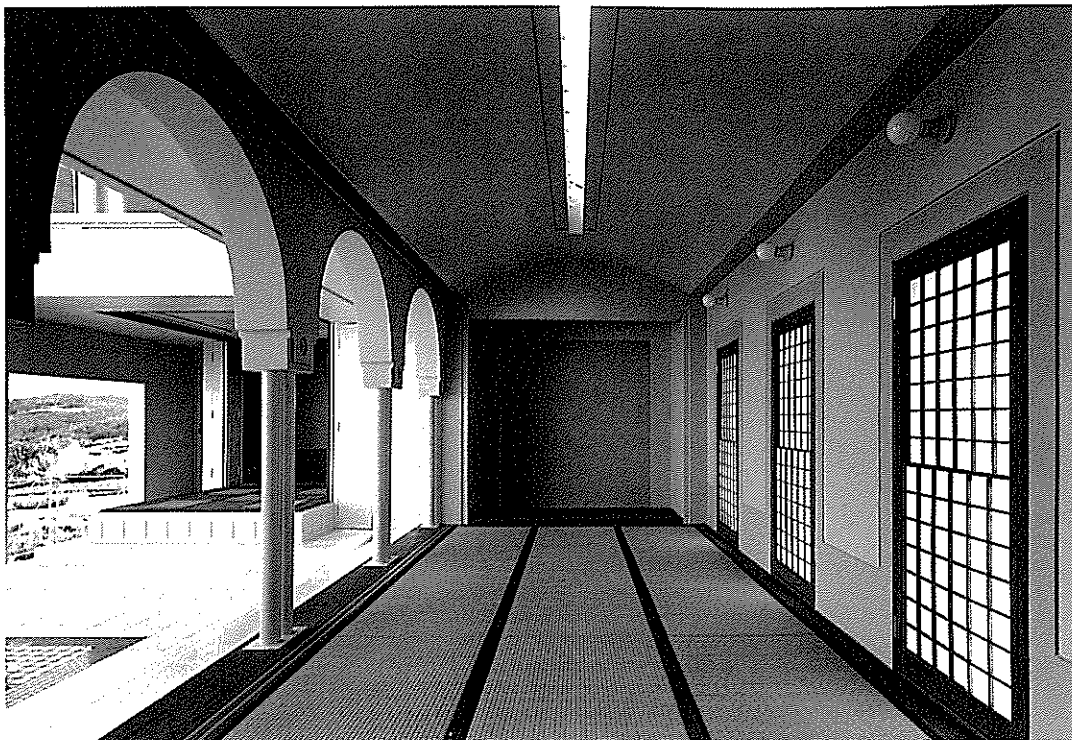
各地域には、まだ風土的よさが少しは残ってい
る。それを享受できる住宅をつくるのが、豊
かな生活空間を生み出すことになるだろうし、
その蓄積が「ニライ・カナイ」のような理想郷
の街を生むことになる。 (福村俊治)



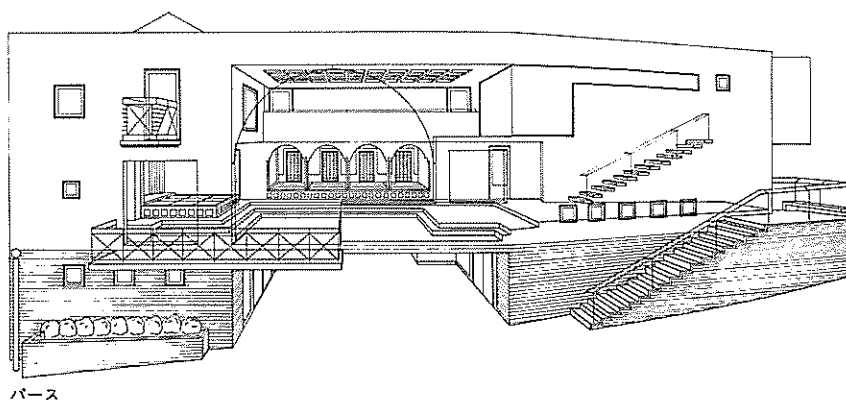
3階西側寝室



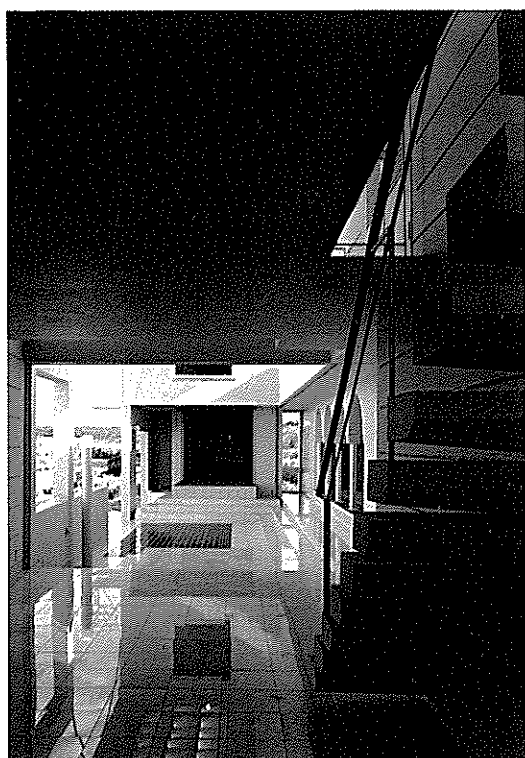
パティオより西方向を見る



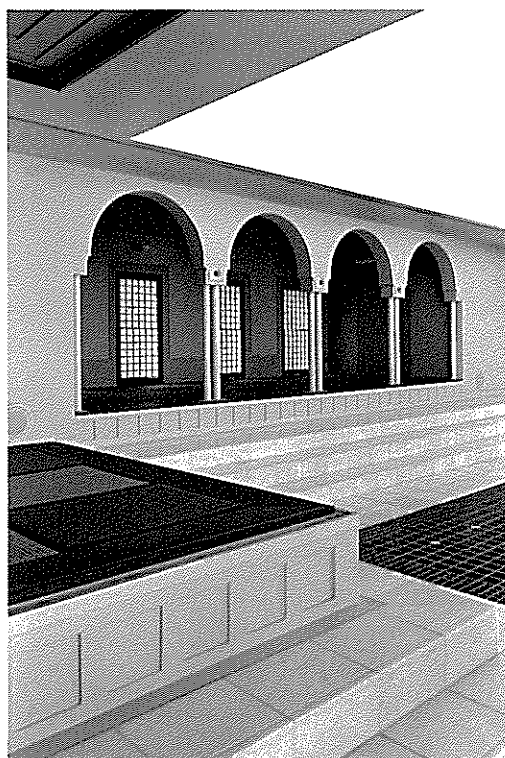
2階和室



パース



リビングルームよりパティオ方向を見る



茶室を介して和室方向を見る

■NIRAI・KANAI(飯塚別邸)

所在地/沖縄県読谷村

主要用途/専用住宅

家族構成/夫婦

設計

福村俊治+空間計画VOYAGER

担当 福村俊治 河野俊弘 福村広美

構造 建築設計庵 担当 比嘉一博

設備・電気 仲本設備設計 担当 仲本隆司 中村陽一

施工

米正建設 担当 米盛正幸 波名城長和

設備・電気 三友電水工事社 担当 桃原栄 棚原豪 仲宗根智子

規模

地上3階 最高の高さ 7.90m

敷地面積 212.10㎡

建築面積 104.70㎡(建築率 48% 許容 70%)

延床面積 268.70㎡(容積率 127% 許容 400%)

1階 104.3㎡

2階 116.0㎡

3階 48.4㎡

構造

主体構造 鉄筋コンクリート壁式構造

基礎 直接基礎

工程

設計期間 1990年5月～1991年7月

工事期間 1991年9月～1992年5月

法規・敷地条件

無指定地域道路幅員 北6.50m 駐車台数 3台

工事費

建築 37,970,000円

電気 1,650,000円

外構・造園 1,180,000円

衛生 3,200,000円

総工費 44,000,000円

坪単価 540,000円

外部仕上げ

屋根/コンクリート陸屋根防水モルタル金ゴテ押え
スタイロフォームφ50mm 外断熱モルタル押え

外壁/コンクリート打放し補修の上シリコン系弾性吹付けタイル 一部50mm角磁器質タイル貼り
開口部/アルミシルバーサッシュ

外構/亜鉛溶融メッキフェンス 芝生植栽

内部仕上げ

和室

床/木床組置敷き

壁/コンクリート打放し補修 AEP 一部ラワン合板 下地ビニールクロス貼り

天井/コンクリート打放し補修 AEP 一部岩綿吸音板張り

リビングルーム

床/300mm角白大理石φ10mm

壁/コンクリート打放し補修目地切り AEP

天井/コンクリート打放し補修 AEP

主寝室

床/カーペットタイルφ7mm

壁/ラワン合板下地 ビニールクロス貼り

天井/コンクリート打放し補修 AEP

パティオ

床/300mm角白大理石φ10mm 一部100mm角、50mm角窓室タイル

壁/コンクリート打放し補修吹付けタイル

天井/コンクリート打放し補修吹付けタイル サッシュレスガラス トップライト

設備システム

空調方式/ヒートポンプ式個別冷暖房

給湯方式/ガス瞬間湯沸器

給排水方式/市上水道直結 浄化槽

主な使用機器

空調機器/NEC

給湯機器/INAX

便器・洗面器・バスタブ等/TOTO INAX

厨房機器/ソシエール SONYグランデール

家具/造付け

建築金物/ユニオン ミワ

撮影/本誌写真部